

4年間総まとめ

6 住みよい住環境を守る ために…

コロナ禍において多くの市民が再発見したのは、身近な地域の魅力、公園や緑の重要性ではないでしょうか。小柳は、まちづくり委員長として「公園改革元年！」を宣言し、今後の公園のありかたについて全会派一致で提言をまとめました。

魅力的な公園づくりからはじまるウォーカブルシティ

【令和3年度まちづくり委員会提言】

提言項目

公園について

- ①公園のルールを、禁止中心からできること中心で検討すること
- ②持続可能な公園にするための管理手法、整備手法を検討すること
- ③子どもも高齢者も障害者も楽しめる、インクルーシブな公園を検討すること
- ④子どもが自らの発想で自由に遊ぶことができるプレーパークの普及を図ること
- ⑤公園内及び周辺道路の喫煙禁止を検討すること

水辺および歩行空間について

- ①河川や水路沿いにおいてウォーカブルな水辺空間の創出に努めること
- ②遊歩道や緑道を歩行者が安全に通行できる空間とするよう努めること
- ③ベンチの設置により、歩きたくなる道路環境づくりに努めること
- ④まちなかに回遊性を持たせる際には、歴史的な景観、街並みの保全もあわせて検討すること

提案 ▶ 前進！

令和2年9月 一般質問

マンション管理の適正化推進

市の調査によると、長期修繕積立をしていないマンションが約10%も存在し、管理不全予備軍という状況が判明した。行政としての支援、対策が必要であり、東京都は条例化により支援と管理の徹底を進めている。現在、さいたま市マンション管理適正化推進計画を策定しているが、不十分と認識している。管理不全の末は、写真の野洲市のマンションであり、強制解体は税金で行われた。周辺の住環境を壊さぬよう、対策が必要である。

提案 ▶ 前進！

令和3年2月まちづくり委員会

公園でのボール遊びを可能にすること

公園は禁止事項ばかりで楽しくないという利用者の声がある。公園でのボール遊びについて、船橋市の地域検討会の例を参考に提案した。現在、本市でも地域と利用者で公園ルールを決める仕組みを検討し、ボール遊びが可能になる公園づくりが始まった。

提案 ▶ 実現！

令和3年2月まちづくり委員会、令和5年度予定

駒場遊歩道などの歩行者の安全確保

北浦和界限では駒場遊歩道や緑道などが続いており、本来であれば歩くのには非常によい環境のはずである。一方で、自転車も走りやすい状況であり、歩行者の安全が脅かされる状況が見られる。この度、自転車が一旦降りるようにするハザードの設置など所管の管轄を超えてサインの統一などの安全対策が始まる。

前進！

前任期より

針ヶ谷歩道橋の撤去

小柳ほか2名の議員同席のもと、地元5自治会(針ヶ谷一丁目自治会、針ヶ谷一丁目天神会、針ヶ谷二丁目自治協力会、針ヶ谷二丁目東部自治会、針ヶ谷三丁目自治協力会)・針ヶ谷小学校PTAから清水市長に針ヶ谷歩道橋の撤去と信号設置の要望書が提出されていた。見通しも悪く、車いすは歩道の通行が困難な状況にある。自治会、学校など関係者の協議を終え、解体工事の設計も終了している。後は警察協議による信号設置の許可が待たれる。



さいたま市議会 さいたま未来市議団 <http://saitamamirai.org/>

こやなぎ

小柳よしふみ

小柳よしふみ

検索

市政レポート
2023.2 vol.52

〒330-0055
さいたま市浦和区東高砂町23-19-2F
TEL 048-799-3232
FAX 048-799-3233
E-mail info@koyanagi.jp
ホームページ <http://koyanagi.jp/>
ブログ <http://ameblo.jp/y-koyanagi/>

2019.4～2023.3

小柳よしふみの活動記録！

代表・一般質問

委員会質問

質問総数

5回

11回

123問

皆さまの想いととともに歩んだ 4年間の成果報告

小柳よしふみのさいたま市議会議員としての3期目の任期も、あと僅かとなってまいりました。皆さまの声、自分の信念に忠実に走り抜けた4年間であったと感じております。今任期は、3年間でコロナ禍にあり、様々な活動に制約がありました。そんな中でも、本レポートでの活動報告の通り充実した時間を過ごすことが出来たことに、心より感謝申し上げます。

この間、さいたま市は誕生20周年を迎え、人口も134万人目前となるなど、成長を続けております。一方で、保育所や放課後児童クラブ、教室、公園が足りないといったことや、コロナ対策においても市民へのケアが行き届かないなど、行政サービスが追いついていない状況も見られます。また、様々な支えが必要な方々のいる社会を、支えて頑張っている現役世代が苦勞をしています。頑張っている方の汗が報われる社会にしていきたいと考えています。

さて、本庁舎の移転が昨年4月臨時会で議決されました(関連記事 中面)。今後、県都浦和のまちづくりをどのように進めていくのかは、最重要課題です。行かなくても手続きができる市役所、区役所を目指して、現在DX化が進められています。その結果、市役所や区役所を訪問する市民は年々少なくなっていきます。今後は、市民の声を聞きながら、浦和のまちの発展に資する本庁舎跡地の利活用を検討していく必要があります。また、本庁舎跡地の利活用だけではなく、駅前の商業施設なども更新時期を迎えます。裁判所など国や県、市の公共施設の更新も控えています。浦和のまちの将来の発展に向けて、各事業を連動させたまちづくりをしていかなばなりません。また、私が市議会議員として活動を始めた2011年は、東日本大震災が起こった年です。被災後駆け付けた時の現地の姿は、今でも忘れることができません。いつ起こるのか分からない自然災害から市民の命を守ることは、課せられた使命であると考えて活動してまいりました。

皆さまの声とともに全力で走り続けた4年間の活動を、ここにまとめてみました。今任期は、1年目に予算委員長、3年目にまちづくり委員長を務めました。役職の関係やコロナの感染拡大により、質問機会が持てなかったことがありました。その中でも、本会議での代表・一般質問5回、委員会質問は11回、質問総計123問と、積極的に議会質問に取り組みました。また、地域の課題にも地道に取り組んでまいりました。このように多くの機会を得て活動できましたのも、皆さまからのお声やお支えがあったからです。改めまして、心より御礼申し上げますとともに、謹んで活動のご報告をさせていただきます。

最後になりますが、小柳よしふみは「地域政党さいたま未来プロジェクト」を設立し、代表を務めております。さいたま市民の幸せを最大限に実現するために、地域課題に市民目線でまっすぐに取り組んでいるところです。これからの小柳よしふみの活動に、引き続きご注目ください。



- 昭和40年(1965年)8月27日生まれ A型
- 浦和市立高砂小、岸中、県立浦和高、慶應義塾大商学部卒業。
- 埼玉銀行を経て、警備会社を経営。平成23年よりさいたま市議会議員(浦和区)。
- 平成27年(2期目)、平成31年(3期目)浦和区にて当選。
- 文教委員会 決算特別委員会(理事) 議会改革推進特別委員会

3期目の4年間も
お世話になりました。
これからも頑張ります！



地域政党
さいたまみらいプロジェクト
Project to Create Saitama City's Future

これからも地域の皆さまとともに、歩みます！

小柳よしふみ地域活動
2019.4～2023.3



浦和区防災アドバイザー協議会
防災士として地域の防災力向上のお手伝いをしています。

ごみゼロ運動
地域における清掃活動は、まちの安全点検にもなっています。

地域の餅つき
毎年あちらこちらで参加して、少しずつ上手くなっている気がします。

夏祭り・御神輿
コロナの影響を受けた夏が続きましたが、今年こそは思いっきり！

地域の夜回り活動
地域の安心・安全を守るとともにコミュニティの形成にも有益です。

女子サッカー大会を継続支援
サッカーのまち浦和ですが、女子サッカーの振興にはまだまだ支援が必要です。

高砂小150周年記念事業
実行委員長、PTA会長として大きな節目を地域の皆さまとお祝いできました。



「後援会イベントでハイ、チーズ！」

市政へのご要望・ご質問は

小柳よしふみ

事務所

E-mail info@koyanagi.jp

ホームページ <http://koyanagi.jp/>

ブログ <http://ameblo.jp/y-koyanagi/>

〒330-0055 さいたま市浦和区東高砂町23-19-2F

TEL:048-799-3232 FAX:048-799-3233



4年間総まとめ

1 地域の安全 のために…

安心・安全なまちづくりは、地域の皆さまの力の結集により実現できています。これからも、皆さまの声を形にしていきます。



調公園時計の修理

子ども連れの利用者が多く、時計が壊れていて不便だという声が上がっていた



通学路の安全対策の推進

交通量の多い馬場先通りを渡る高砂小通学路の安全確保を実施



日の出川排水路 竣工記念碑の移設

通学路にあり倒壊の恐れがあったが、前地三丁目自治会、地元企業のご協力により移設が実現



劣化した道路の補修

北浦和ふれあい商店街通り・東高砂町地ちょっとした道路の凸凹でも夜間や高齢者、ヒールの靴の方には危険に



前地通り商店会 交差点安全対策

一旦停止無視の車両が多く、事故が頻発していた交差点に対策を実施

私は「何をするか」だけでなく「どうやるのか」まで考える議員でありたい。

小柳よしふみは、この4年間で多くの政策課題に取り組み、成果をあげてきました。これからも皆さんの声を市政へ届け、より暮らしやすいさいたま市をつくります。

4年間総まとめ

2

子どもたちのために…

子どもたち、子育て世代が輝くまちは、明るく活気のあるまちになります。子どもたちや頑張っている現役世代が、まず幸せを感じる社会であるように。それが支えを必要としている方を支える社会の力にもつながると考えています。

実現！ 高砂小学校教室のプレハブ校舎の新設

前進！ 高砂小学校複合化建替えプロジェクト

浦和駅周辺は人口急増地域であり、かねてより高砂小は教室不足が懸念されていたが、創立150周年を前にプレハブ校舎が新設された。(令和2年春供用開始)駅前の再開発事業やマンション建設が進む中、今後も教室不足が心配される。校舎の老朽化も進み、駅近という事もあり、複合化・建替えを検討する時期に来ており、庁内プロジェクトチームが編成されて検討が始まっている。



提案▶ 前進！ 先生のない教室をなくす！臨時教員の処遇改善と補充対策

本市教員の5人に1人は臨時採用の教員であり、正規教員と同様にクラス担任等をしている。現状、病欠など教員の欠員をすぐに補充できない例もあり、優秀な臨時採用教員の確保のための処遇改善や、年度途中での欠員を見込んだ補充要員の採用など、先生がいらない教室をつくらない対策は急務である。

提案▶ 実現！

令和2年9月、平成30年12月一般質問

保育の質の安定！保育補助員・用務員配置の補助制度

保育士が保育士しかできない専門の仕事に専念できる環境を作り、保育の質の安定を図るために、保育補助員や用務員配置への補助制度を提案し、現在多くの保育所で採用されている。

4年間総まとめ

3

防災対策のために…

東日本大震災の起こった2011年に初当選、発災直後の被災地の姿は忘れることができません。命を守る防災、災害対策は、小柳の重要なライフワークの1つです。

提案▶ 実現！

平成30年12月一般質問、令和元年度より

提案▶ 実現！

令和3年2月 まちづくり委員会

地震対策としてのブロック塀の改修補助制度

地震でブロック塀などが倒れると避難路がふさがれたり、救助の妨げになる。通学路や避難困難地区、火事の際の延焼リスクの高い地域での対策として期待する。大阪北部地震で小学生児童の犠牲が出て以来、全国で取り組みが進む中、本市では令和元年度から補助制度が創設された。

提案▶ 前進！

まちづくり委員会など前任期から

藤右衛門川流域の浸水対策

本太・前地地区などでは、藤右衛門川の被害が続いており、対策が重ねられてきた。競馬場の入り口付近の河床の段差解消工事をさいたま市、埼玉県とも完了した。上流部の改修も終われば水の流れがよりスムーズになり、毎年約3000万円かかっている河床の土砂などを取り除く工事也不要になると考える。



提案▶ 実現！ いじめ問題解消へ！幹部教員向け研修制度

学校におけるいじめの問題の解決には、教員、特に幹部教員の初期段階での対応が重要となる。専門家による研修により、子ども、保護者ときちんと向き合い対応する力の向上を図ることが必要である。新任幹部教員から研修制度が開始された。



4年間総まとめ

5

地域の活性化のために…

将来に渡る地域の活性化のためには、しっかりとしまちづくりの方針とその着実な進捗が重要である。アフターコロナのまちの将来像を描いていく重要な時期です。

提案▶ 実現！

令和元年度6月まちづくり委員会他

浦和駅周辺まちづくりビジョンの策定

東日本大震災やコロナ禍を経て、社会情勢も大きく変化し、まちづくりに対する市民の考え方も変わった。将来像を持たないまちづくりは行き当たりばったりになるとずっと訴えてきた。アフターコロナのまちの将来像を、市民・民間事業者・行政で共有することが、今後のまちの発展につながると考える。令和4年度末にビジョンが発表となる。

前進！

前任期から

浦和駅西口南高砂地区再開発事業の推進 市民会館うらわの移転

構想段階から年月が経ったが、地権者の合意や事業者のご協力により事業が進行し、解体作業等が進んでいる。市民会館うらわの移転関連費用も令和5年度当初予算にて計上され、本格的に事業が進捗する。今後決まってくる商業テナントの魅力も重要である。竣工予定は、令和8年6月である。

4年間総まとめ

4

福祉・市民生活の充実のために…

社会にはいろいろな事情を抱えた方がいます。誰もが普通に暮らせる社会であるように、そしてそれを支える方たちのケアも重要だと考えています。

提案▶ 実現！ 児童養護施設等の職員向けメンタルケアと資質向上の研修

児童養護施設や自立支援施設には、複雑な事情を持った子どもたちも多く、対応も時代の変化とともに難しくなっている。これまで手薄であった民間児童養護・自立支援施設等の職員のメンタルケアや、研修による資質の向上に取り組むことになった。

提案▶ 前進！

令和3年9月決算特別委員会

要介護者、障害者や妊婦などの優先避難所の改善

公民館は、大規模災害時には要介護者、障害者や妊婦などの要配慮者優先避難所になる。しかし、学校体育館のような運営体制がなく、福祉や介護の専門家もなく、委託会社の管理人1人という時間も多し。現状対応が困難であることは明らかである。公民館の災害時における体制の改善についての検討が進められることになり前進と考えるが、まずは議論を見守りたい。

提案▶ 前進！

令和4年9月 一般質問

高齢者や障害者、子ども向けの高度歯科治療施設の新設

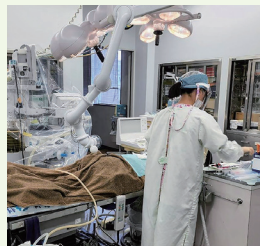
要介護高齢者や障害者など、一般の歯科では治療が困難な方が利用する埼玉県歯科口腔保健センターでは、治療に数か月待ちの状況が続いている。この度、与野保健センター跡地に新設する方針が示され動き出す。暴れたりして一般歯科では治療が困難な子どもの治療等も可能になる。歯科医師会のご協力を頂きながら早期の事業完成が望まれる。

提案▶ 一部実現！

令和2年9月一般質問

学校テニスコートの市民利用を進める

市内公立中高校にある約50面のテニスコートは、朝夕の部活動などの時間以外はほぼ空いている。セキュリティや利用マナーの課題はあるが、空いている時間を市民に開放するだけで、予約が取れない市民のプレー環境が各段に良くなる。今回、開放を進める旨の答弁があり、数校の学校の了解が得られている。必要な改修などを行った上で、学校施設をもっと有効活用し、例えば子どもの居場所づくりや会合の場所など、より多くの市民の幸に貢献する取り組みもできると考える。



本庁舎の跡地は、防災機能を備えた文教都市の象徴となる施設を！

令和4年4月の臨時議会において、2030年の移転を目的にさいたま新都心への本庁舎移転が議決された。3市合併時の合併協定書に端を発した、足掛け約20年の議論に一定の結論が出た。ただし、本庁舎の移転の際にどの地域でも問題となるのが、移転元のまちづくりをしっかりとやらないと地域間対立につながるという事である。浦和のまちの将来ビジョンをしっかりと共有し、浦和の成長発展が期待できる支援体制が不可欠となる。この点が確保されない場合には、実際に移転する際の予算の執行停止などということも考えられる。また、今後重要となるのが本庁舎

の跡地利用である。私は、地域からの要望もある防災機能を備えた文教都市の象徴となる施設であるべきと考える。例えば、海外の一流大学の日本校などであれば、地域教育への貢献や教育産業の誘導、また若い世代が毎年流入するなど、地域活性化に効果が期待できる。また、学校であれば、災害時の拠点スペースや地域のコミュニティスペースとしての利用なども期待できる。民間のノウハウと資金を活用しながら、財政負担を抑えた整備を進める事も重要である。ピンチを大きなチャンスに変えることが、地元議員の果たす役割と認識し、活動を続けている。

活性化提案1 駒場競技場エリアのスポーツ施設再編による活性化

平成30年12月一般質問 提案

提案▶ 前進！

駒場競技場周辺は、駒場公園内にサッカー競技場、サブグラウンド、相撲場、駒場体育館やテニスコート、市民プールなどスポーツ施設が集積している。それを都市局、市民局、教育委員会など、縦割りでバラバラに管理修繕などを行っており、効率が悪く、日通さんの野球施設が隣接することを含めて、スポーツ施設の集積拠点として民間力も活用した全体ビジョンを持った上で、効率的な再整備、管理・運営をすることで市民スポーツと緑の環境を良くし、浦和駅・北浦和駅東口の賑わい創出につなげる。浦和駅周辺まちづくりビジョンの重点プロジェクトの1つとして、令和5年度以降の検討項目になる。

活性化提案2 北浦和インフォメーションセンターの改革

令和3年9月一般質問 提案

提案▶ 検討

北浦和駅東口徒歩1分にある北浦和インフォメーションセンター(旧レッスクエア)は、商店街の入り口にありながら、夕方からの時間や週末には閉まっている。イベント広場や上層階に市民利用スペースを確保するなどの条件付きで、民間提案も含めた建替え・利活用を検討するべきと考える。自治会館などコミュニティ施設不足の解消や魅力的なお店が入れば、集客にもつながる。

